会議録

会議の名称	第45回茨木市こども育成支援会議
開催日時	令和3年11月8日(月) 午後6時01分~午後7時47分
開催場所	オンライン(委員)、市役所南館8階中会議室(職員) ほか
出席委員	大高委員、亀山委員、久保委員、下田平委員、中村委員、西川委員、西之辻委員、
	畑瀬委員、濱園委員、福田委員、堀田委員、前田委員、三角委員、宮島委員、宗
	清委員、森委員、脇條委員
	(五十音順)
欠席委員	大森委員、加藤委員、棚田委員
	(五十音順)
事務局	山嵜こども育成部長、東井こども政策課長、中井子育て支援課長、村上保育幼稚
	園事業課長、戸田学童保育課長、松山人権・男女共生課長、澤田福祉総合相談課
	長、莫根生活福祉課長、松本社会教育振興課長、青木学校教育推進課長、濱田保
	育幼稚園総務課参事兼指導係長、富崎商工労政課参事兼労働福祉係長、白波瀬
	課長代理兼政策係長
案件	■会議案件
	(1) 茨木市次世代育成支援行動計画(第4期)実施状況報告について
	■その他
 配付資料	
配门更作	

発 言 者	発 言 内 容
こども政策課	ご案内の時間となりましたので、茨木市こども育成支援会議を開催いたしま
東井課長	す。
	本日は大変ご多用のところ、ご出席をいただきまして誠にありがとうございま
	す。
	なお、本日につきましても、新型コロナウイルス感染症対策のため、会議の開
	催方法をオンラインによる開催とさせていただいております。ご理解とご協力の
	程よろしくお願いいたします。
	続きまして、本日の委員の出欠状況について報告いたします。
	公募市民、棚田智世委員、あけぼの学園友の会、会長加藤敏子委員、私立幼稚
	園連合会、茨木高美幼稚園園長、大森智美委員につきましては、所用のため欠席
	の連絡を頂いております。なお、茨木市PTA協議会(幼稚園)、中村明子委員
	につきましては、この後遅参されて参加される予定になっております。私立保育
	園保護者、大高瞳委員につきましては、欠席の連絡を頂いておりませんので、遅
	参して出席していただけるものと考えております。
	つきましては、本日20人の委員のうち、15名に出席をいただいております。
	また、神戸綜合速記株式会社が会議録作成のため、この会議に同席しております。
	それでは、茨木市こども育成支援会議条例第6条第1項の規定により、会議の
	議事進行を福田会長にお願いいたします。
福田会長	皆さん、こんばんは。
	それでは、第 45 回茨木市こども育成支援会議を進めさせていただきたいと思
	います。どうぞよろしくお願いします。
	それでは、進めさせていただきますが、審議の内容について、これまでどおり、
	発言者のお名前をつけて公表させていただきたいと思っておりますが、よろしい
	でしょうか。
	はい、ありがとうございます。今後も、特段の理由がなければ、こういった形
	で進めさせていただければと思いますので、よろしくお願いします。
	それでは、会議録作成の都合もございますので、どなたが発言されたのか分か
	るように「○○です」と発言者名おっしゃってから発言をお願いしたいと思いま
	すので、その点、どうぞよろしくお願いいたします。
	それでは、会議案件、茨木市次世代育成支援行動計画(第4期)実施状況報告
	に入りたいと思いますが、まず、前回の会議で、森委員からお受けしておりまし た 57 cm になってがいます。
	た 57 ページでございます。デートDV防止啓発に係るご質問につきまして、今
	回の会議で回答いただけるということでした。
	事務局のほう、いかがでしょうか。 よろしくお願いします。
 人権・男女共	
生課	八催・ガダ共生課、松田です。 森委員から頂いた質問について、お答えさせていただきます。
松山課長	まず、一つ目が、この 57 ページの表の【A】欄で、「オンラインでの講座開催」
	を検討中とのことだが、実施に向けて、是非とも前向きに取り組んでもらえない
l	と1次月1 といここにか、大心に同けて、たかこも时円さに取り組んてもりえない。

かというご質問ですが、人権・男女共生課としましては、より学校のほうに活用できるような方法を検討していきたいと考えております。それから、二つ日ですが、この活動指標の令和6年度の日標を5回としているが、小学校 22 校、中学校14 校あるので、もっと増やせないかというご質問でございます。この令和6年度の目標値につきましては、計画策定時の実施回数を踏まえて設定したものでありますが、より多くの学校で実施していただき、日標値を上回る回数が実施できるように、引き続き学校と連携して、積極的に講座の周知を図ってまいりたいと考えております。 また、毎年度、人権・男女共生課では、思春期数育に関わる教員、職員、教育関係者に対し、思春期教育諸演会を開催しまして、思春期における性の現状や取組について学ぶ機会を提供しております。その中で、デートDVや思春期教育の学習の必要性を理解していただくとともに、出前講座についても紹介をしておりまし、円前講座の活用を促進しているところでございます。回答は以上でございます。回答は以上でございます。回答は以上でございました。 森委員は、まだいらしてないですかね。 まだですね。はい、分かりました。また、会議録のほうでご確認いただきたいなと思います。 事務局 はい、森泰員はまだお見えになっておられません。またですね。はい、分かりました。また、会議録のほうでご確認いただきたいなと思います。その回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。(質問答等なし)はい、どうもありがとうございました。今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。(質問答等なし)はい、どうもありがとうございます。そ前の研究というといきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。「できなかったと思っております。68ページから93ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったとと」で加入率の維持と書かれています。その中間の育成というところで、できなかったと思うんですす。それを解消すれば、もか少し両方関わるご家庭や、アともさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し両方関わるご家庭や、アともさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し両方関わるご家庭や、アともさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し両方関わるご家庭や、アともさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し両方関わるご家庭や、アともさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し両方関わるご家庭や、アともさんが増えるような気がします。その辺り、もうとしてないでしょうか。		Ţ
がら、効果的な方法を検討していきたいと考えております。 それから、二つ目ですが、この活動指標の令和6年度の目標を5回としているが、小学校32校、中学校14校あるので、もっと増やせないかというご質問でございます。この令和6年度の目標値につきましては、制面策定時の実施回数を踏まえて設定したものでありますが、より多くの学校で実施していただき、目標値を上回る回数が実施できるように、引き続き学校と連携して、積極的に講座の周知を図ってまいりたいと考えております。 また、毎年度、人権・男女共生課では、思春期教育に関わる教員、職員、教育関係者に対し、思春期教育講演会を開催しまして、思春期代おける性の現状や取組について学ぶ機会を提供しております。その中で、デートDVや思春期教育の学習の必要性を理解していただくとともに、出前講座についても紹介をしておりまして、出前講座の活用を促進しているところでございます。 回答は以上でございます。 はい、事務局どうもありがとうございました。森委員は、まだいらしてないですかね。 まだですね。はい、分かりました。また、会議録のほうでご確認いただきたいなと思います。 事務局、どうもありがとうございました。今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。(質問者等なし)はい、どうもありがとうございました。その回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでようか。何間を禁むたります。実施状况報告書をお手元にご準備いただいているかと思いますが、前回の続きになります。実施状况報告書をお手元にご準備いただいているかと思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしようか。西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団も同員教験少になっていると書かれているですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね、私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っているともう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		かというご質問ですが、人権・男女共生課としましては、より学校のほうに活用
それから、二つ目ですが、この活動指標の令和6年度の目標を5回としているが、小学校32校、中学校14校あるので、もっと増やせないかというご質問でございます。この令和6年度の目標値につきましては、計画策定時の実施回数を踏まえて設定したものでありますが、より多くの学校で実施していただき、日標値を上回る回数が実施できるように、引き続き学校と連携して、積極的に講座の周知を図ってまいりたいと考えております。また、毎年度、人権・男女共生課では、思春期教育に関わる教員、職員、教育関係者に対し、思春期教育講演会を開催しまして、思春期における性の現状や取組について学が機会を提供しております。その中で、デートDVや思春期教育の学習の必要性を理解していただくとともに、出前講座についても紹介をしておりまして、出前講座の活用を促進しているところでございます。回答は以上でございます。。 国答は以上でございます。 ロ答は以上でごいます。 はい、事務局どうもありがとうございました。 素委員は、まだいらしてないですかね。 はい、事務局 どうもありがとうございました。 まだですね。はい、分かりました。また、会議録のほうでご確認いただきたいなと思います。 育問の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと思いますが、前回の続きら8ページから見ていきたいなと思っております。68ページから93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂敷したいと思います。 表員の皆さん、いかがでしょうか。 西川さん、どうぞ。 西川です。68ページからのまでいますし、スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったととままかれているですが、こちらの育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年間も団員数減少になっていると書かれていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		できるような方法を考えていく中で、オンラインでの講座開催法も今後検討しな
が、小学校32 校、中学校14 校あるので、もっと増やせないかというご質問でございます。この令和6 年度の目標値につきましては、計画策定時の実施回数を踏まえて設定したものでありますが、より多くの学校で実施していただき、目標値を上回る回数が実施できるように、引き続き学校と連携して、積極的に講座の周知を図ってまいりたいと考えております。また、毎年度、人権・男女共生課では、思春期教育に関わる教員、職員、教育関係者に対し、思春期教育講演会を開催しまして、思春期代おける性の現状や取組について学ぶ機会を提供しております。その中で、デートDVや思春期教育の必要性を理解していただくとともに、出前講座についても紹介をしておりまして、出前講座の活用を促進しているところでございます。回答は以上でございます。 はい、事務局どうもありがとうございました。素委員は、まだいらしてないですかね。はい、余委員はまだお見えになっておられません。まだですね。はい、分かりました。また、会議録のほうでご確認いただきたいなと思います。事務局、どうもありがとうございました。今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。(質問者等なし)はい、どうもありがとうございます。それでは、進めさせていただきたいと思います。前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから 93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているですれ、私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		がら、効果的な方法を検討していきたいと考えております。
ざいます。この令和6年度の目標値につきましては、計画策定時の実施回数を踏まえて設定したものでありますが、より多くの学校で実施していただき、目標値を上回る回数が実施できるように、引き続き学校と連携して、積極的に請座の周知を図ってまいりたいと考えております。また、毎年度、人権・男女共生課では、思春期数育に関わる教員、職員、教育関係者に対し、足春期教育諸盗会を開催しまして、思春期における件の現状や取組について学ぶ機会を提供しております。その中で、デートDVや思春期教育の学習の必要性を回解していただくとともに、出前講座についても紹介をしておりまして、出前講座の活用を促進しているところでございます。回答は以上でございます。 「国答は以上でございます。 はい、事務局だうもありがとうございました。森委員は、まだいらしてないですかね。まだですね。はい、分かりました。また、会議録のほうでご確認いただきたいなと思います。 事務局、どうもありがとうございました。今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。(質問者等なし)はい、どうもありがとうございます。それでは、進めさせていただきたいと思います。前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから 93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれているですね、私が子どもを育てていたときも、行事が載なる部分があると思うんですね、私が子どもを育てていたときも、行事が載なるこここっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し画方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		それから、二つ目ですが、この活動指標の令和6年度の目標を5回としている
まえて設定したものでありますが、より多くの学校で実施していただき、目標値を上回る回数が実施できるように、引き続き学校と連携して、積極的に講座の周知を図ってまいりたいと考えております。 また、毎年度、人権・男女共年課では、思春期教育に関わる教員、職員、教育関係者に対し、思春期教育請演会を開催しまして、思春期における性の現状や取組について学ぶ機会を提供しております。その中で、デートDVや思春期教育の学習の必要性を理解していただくとともに、出前講座についても紹介をしておりまして、出前講座の活用を促進しているところでございます。回答は以上でございます。 「回答は以上でございます。 「国告は、事務局どうもありがとうございました。 養委員は、まだいらしてないですかね。 まだですね。はい、分かりました。また、会議録のほうでご確認いただきたいなと思います。 事務局、どうもありがとうございました。今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。(質問者等なし)はい、どうもありがとうございます。 それでは、進めさせていただきたいと思います。前回の続きになります。実施状况報告書をお手元にご準備いただいているかと思いますが、前回の続き、68 ページから見ていきたいなと思っております。68 ページから 93 ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。西川さん、どうぞ。 西川です。68 ページと69 ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員教談少になっていると書かれているのですれ。私が手どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し画方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		が、小学校 32 校、中学校 14 校あるので、もっと増やせないかというご質問でご
を上回る回数が実施できるように、引き続き学校と連携して、積極的に講座の周知を図ってまいりたいと考えております。 また、毎年度、人権・男女共生課では、思春期教育に関わる教員、職員、教育関係者に対し、思春期教育講演会を開催しまして、思春期における性の現状や取組について学ぶ機会を提供しております。その中で、デートDVや思春期教育の学習の必要性を理解していただくとともに、出前講座についても紹介をしておりまして、出前講座の活用を促進しているところでございます。 回答は以上でございます。 はい、事務局どうもありがとうございました。森委員は、まだいらしてないですかね。 まだですね。はい、分かりました。また、会議録のほうでご確認いただきたいなと思います。 事務局、どうもありがとうございました。今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。(質問者等なし)はい、どうもありがとうございました。それでは、進めさせていただきたいと思います。前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ 少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれていますし、スポーツの年間も団員数減少になっていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		ざいます。この令和6年度の目標値につきましては、計画策定時の実施回数を踏
知を図ってまいりたいと考えております。 また、毎年度、人権・男女共生課では、思春期教育に関わる教員、職員、教育 関係者に対し、思春期教育講演会を開催しまして、思春期における性の現状や取 組について学ぶ機会を提供しております。その中で、デートDVや思春期教育の 学習の必要性を理解していただくとともに、出前講座についても紹介をしており まして、出前講座の活用を促進しているところでございます。 回答は以上でございます。 (はい、事務局どうもありがとうございました。 森委員は、まだいらしてないですかね。 はい。森委員はまだお見えになっておられません。 まだですね。はい、分かりました。また、会議録のほうでご確認いただきたい なと思います。 事務局、どうもありがとうございました。 今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。 (質問者等なし) はい、どうもありがとうございます。 それでは、進めさせていただきたいと思います。 前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと 思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから 93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしようか。 西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ 少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その 辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		まえて設定したものでありますが、より多くの学校で実施していただき、目標値
また、毎年度、人権・男女共生課では、思春期教育に関わる教員、職員、教育関係者に対し、思春期教育講演会を開催しまして、思春期における性の現状や取組について学ぶ機会を提供しております。その中で、デートDVや思春期教育の学習の必要性を理解していただくとともに、出前議座についても紹介をしておりまして、出前講座の活用を促進しているところでございます。回答は以上でございます。回答は以上でございます。 回答は以上でございます。 福田会長 はい、事務局どうもありがとうございました。森委員は、まだいらしてないですかね。 まだですね。はい、分かりました。また、会議録のほうでご確認いただきたいなと思います。事務局、どうもありがとうございました。今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。(質問者等なし)はい、どうもありがとうございます。それでは、進めさせていただきたいと思います。前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。西川さん、どうぞ。 西川を員 西川です。68ページと69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し画携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		を上回る回数が実施できるように、引き続き学校と連携して、積極的に講座の周
関係者に対し、思春期教育講演会を開催しまして、思春期における性の現状や取組について学ぶ機会を提供しております。その中で、デートDVや思春期教育の学習の必要性を理解していただくとともに、出前講座についても紹介をしておりまして、出前講座の活用を促進しているところでございます。 回答は以上でございます。 はい、事務局どうもありがとうございました。森委員は、まだいらしてないですかね。 事務局はい。森委員はまだお見えになっておられません。 まだですね。はい、分かりました。また、会議録のほうでご確認いただきたいなと思います。 事務局、どうもありがとうございました。今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。(質問者等なし)はい、どうもありがとうございます。それでは、進めさせていただきたいと思います。前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと思いますが、前回の続き、68ページと68ページとのままして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し画方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		知を図ってまいりたいと考えております。
組について学ぶ機会を提供しております。その中で、デートDVや思春期教育の学習の必要性を理解していただくとともに、出前講座についても紹介をしておりまして、出前講座の活用を促進しているところでございます。 回答は以上でございます。 はい、事務局どうもありがとうございました。 森委員は、まだいらしてないですかね。 事務局はい。森委員はまだお見えになっておられません。 第だですね。はい、分かりました。また、会議録のほうでご確認いただきたいなと思います。 事務局、どうもありがとうございました。 今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。(質問者等なし)はい、どうもありがとうございます。それでは、進めさせていただきたいと思います。前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから 93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		また、毎年度、人権・男女共生課では、思春期教育に関わる教員、職員、教育
学習の必要性を理解していただくとともに、出前講座についても紹介をしておりまして、出前講座の活用を促進しているところでございます。 個田会長 はい、事務局どうもありがとうございました。 森委員は、まだいらしてないですかね。 事務局 はい。森委員はまだお見えになっておられません。 個田会長 まだですね。はい、分かりました。また、会議録のほうでご確認いただきたいなと思います。 事務局、どうもありがとうございました。 今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。 (質問者等なし) はい、どうもありがとうございます。 それでは、進めさせていただきたいと思います。 前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから 93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。 委員の皆さん、いかがでしょうか。 西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		関係者に対し、思春期教育講演会を開催しまして、思春期における性の現状や取
まして、出前講座の活用を促進しているところでございます。 回答は以上でございます。 はい、事務局どうもありがとうございました。 森委員は、まだいらしてないですかね。 事務局はい。森委員はまだお見えになっておられません。 まだですね。はい、分かりました。また、会議録のほうでご確認いただきたいなと思います。 事務局、どうもありがとうございました。今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。(質問者等なし)はい、どうもありがとうございます。それでは、進めさせていただきたいと思います。前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し両方関わるごないました。		組について学ぶ機会を提供しております。その中で、デートDVや思春期教育の
個田会長 はい、事務局どうもありがとうございました。 森委員は、まだいらしてないですかね。 事務局 はい、森委員はまだお見えになっておられません。 まだですね。はい、分かりました。また、会議録のほうでご確認いただきたいなと思います。 事務局、どうもありがとうございました。 今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。 (質問者等なし) はい、どうもありがとうございます。 それでは、進めさせていただきたいと思います。 前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから 93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。 西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		学習の必要性を理解していただくとともに、出前講座についても紹介をしており
福田会長 はい、事務局どうもありがとうございました。 森委員は、まだいらしてないですかね。 はい。 森委員はまだお見えになっておられません。 まだですね。はい、分かりました。また、会議録のほうでご確認いただきたいなと思います。 事務局、どうもありがとうございました。 今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。 (質問者等なし) はい、どうもありがとうございます。 それでは、進めさせていただきたいと思います。 前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから 93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。 委員の皆さん、いかがでしょうか。 西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		まして、出前講座の活用を促進しているところでございます。
事務局 はい。森委員はまだお見えになっておられません。		回答は以上でございます。
事務局 はい。森委員はまだお見えになっておられません。 まだですね。はい、分かりました。また、会議録のほうでご確認いただきたいなと思います。 事務局、どうもありがとうございました。 今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。 (質問者等なし) はい、どうもありがとうございます。 それでは、進めさせていただきたいと思います。 前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから 93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。西川さん、どうぞ。 西川委員 西川です。68ページと 69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき	福田会長	はい、事務局どうもありがとうございました。
福田会長 まだですね。はい、分かりました。また、会議録のほうでご確認いただきたいなと思います。 事務局、どうもありがとうございました。 今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。 (質問者等なし) はい、どうもありがとうございます。 それでは、進めさせていただきたいと思います。 前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから 93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。 委員の皆さん、いかがでしょうか。 西川さん、どうぞ。 西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと 69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		森委員は、まだいらしてないですかね。
本と思います。 事務局、どうもありがとうございました。 今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。 (質問者等なし) はい、どうもありがとうございます。 それでは、進めさせていただきたいと思います。 前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから 93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。 西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと 69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき	事務局	はい。森委員はまだお見えになっておられません。
事務局、どうもありがとうございました。 今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。 (質問者等なし) はい、どうもありがとうございます。 それでは、進めさせていただきたいと思います。 前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと 思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから 93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。 西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと 69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき	福田会長	まだですね。はい、分かりました。また、会議録のほうでご確認いただきたい
今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。 (質問者等なし) はい、どうもありがとうございます。 それでは、進めさせていただきたいと思います。 前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと 思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから 93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。 西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと 69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		なと思います。
(質問者等なし) はい、どうもありがとうございます。 それでは、進めさせていただきたいと思います。 前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと 思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから 93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。 西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと 69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		事務局、どうもありがとうございました。
はい、どうもありがとうございます。 それでは、進めさせていただきたいと思います。 前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと 思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから 93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。 西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと 69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		今の回答に関しまして、委員の皆さん、よろしいでしょうか。
それでは、進めさせていただきたいと思います。 前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと 思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから 93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。 西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと 69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		(質問者等なし)
前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから 93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと 69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		はい、どうもありがとうございます。
思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ページから 93ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。 西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと 69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ 少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		それでは、進めさせていただきたいと思います。
ージから 93 ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思います。委員の皆さん、いかがでしょうか。 西川さん、どうぞ。 西川です。68 ページと 69 ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ 少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		前回の続きになります。実施状況報告書をお手元にご準備いただいているかと
います。委員の皆さん、いかがでしょうか。 西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ 少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれ ていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのです が、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんで すね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、 もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれ ば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その 辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		思いますが、前回の続き、68ページから見ていきたいなと思っております。68ペ
西川さん、どうぞ。 西川です。68ページと69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ 少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		ージから 93 ページの内容につきまして、委員の皆さんの意見を頂戴したいと思
西川委員 西川です。68ページと69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ 少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		います。委員の皆さん、いかがでしょうか。
少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		西川さん、どうぞ。
ていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのですが、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき	西川委員	西川です。68ページと69ページですが、「こども会活動の支援」と「スポーツ
が、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんですね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		少年団の育成」というところで、「できなかったこと」で加入率の維持と書かれ
すね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、 もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれ ば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その 辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		ていますし、スポーツ少年団も団員数減少になっていると書かれているのです
もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その 辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		が、こちらの活動に熱心な保護者の方は、両方割と重なる部分があると思うんで
ば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その 辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		すね。私が子どもを育てていたときも、行事が重なって、こっちに入っていると、
辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき		もう一方に入れないというようなことが多かったと思うんです。それを解消すれ
		ば、もう少し両方関わるご家庭や、子どもさんが増えるような気がします。その
ないでしょうか。		辺り、もう少し連携を取ったり、相談して行事を進めたり、そういうことはでき
		ないでしょうか。
福田会長 西川さん、どうもありがとうございました。	福田会長	西川さん、どうもありがとうございました。

こども会とスポーツ少年団の連携についてのご意見だったと思いますが、これに関しまして、委員の皆さんからご質問・ご意見等ございませんでしょうか。よろしいですか。

下田平さん、どうぞ。

下田平委員

下田平です。私も 68、69 ページのことなのですが、こども会のことに関しては、以前から何度かお話しているかと思うんですが、スポーツ少年団と同じく、親の負担が大きいのかなと思っていますが、いかがでしょうか。こども会に関しては、私の頃は何十年も前になりますが、子どもたちが先で保護者がお手伝いするという形だったのですが、今は、保護者が優先になってしまっているかなと思うところがあります。それと、スポーツ少年団では、お母さん方のお話を聞いていますと、当番や、いろいろな面で親御さんの出る場面が多くて、子どもたちと常に一緒に活動しないといけないというところが、負担になっているのかなと思いますが、いかがでしょうか。

福田会長

ご意見ありがとうございました。

これに関連しまして、委員の皆さん、いかがでしょうか。

一つは、二つの活動が重なっているのではないかというお話を西川さんからいただきました。それと、下田平さんからは、それぞれの活動の親への負担が重くなっているのではないかというご意見をいただきました。活動づくりや、当番などですよね。事務局の見解を聞いてみたいと思いますが、いかがでしょうか。

社会教育振興

社会教育振興課の松本です。

課 松本課長

こども会とスポーツ少年団との連携ということですが、具体的な連携というところでいえば、こども会でどのような形を取られているかというようなところまでは把握できておりませんが、教育委員会が主催していますこども会対象のキックベースボールであったり、ソフトボール大会ですが、開催時期を以前は7月に行っておりましたが、最近は熱中症の関係がありますので、9月変更したり、また、今年度でありましたら、コロナ禍ということもありまして、11月末に延期しているところです。それぞれの事情等もございますので、なかなか具体的な連携はしておりませんが、いろんな方がそれぞれの活動に参加できるように、また、どのような連携ができるかというところは、こども会の方にも聞きながら、考えていきたいと思います。

次に、こども会の親の負担というところでありますが、これは事務局としても 認識をしているところでありまして、年々、こども会の加入率は下がってきてい ます。少しでも、こども会活動を支える人材の不足を補うために、茨木市教育委 員会では、平成27年度から、市内にお住まいの子ども好きの方、18歳以上の方 に、こども会サポーターという形で募集をいたしまして、希望があるこども会に お手伝いを行っていただくなど、負担軽減について取り組んでいるところです。 以上です。

福田会長

はい、事務局どうもありがとうございました。

今、事務局から見解をいただきましたが、それに関連しまして、委員の皆さんから何かご意見ございますか。よろしいでしょうか。

(質問者等なし)

はい、ありがとうございます。

二つの活動についての連携のあり方について、事務局のほうでは、特に把握されていないということでしたので、できれば、今後把握していただくように、もしくは、把握するだけではなくて、活動が重ならないような取組等も進めていただければなと思いました。または、現に、今の段階でも連携されているスポーツ少年団とこども会もあろうかと思いますので、その辺りの実態の把握などにも努めていただけるといいのかなと思いました。また、こども会サポーターのお話もありましたが、こういった活動は進んでいくといいのかなと思いました。

どうもありがとうございました。

次に移らせていただいてもよろしいですか。関連して、何かあればと思いますが、よろしいでしょうか。

宮島委員

すみません。宮島です。

福田会長

はい、宮島さん、どうぞ。

宮島委員

こんばんは。このこども会の活動に関連してなのですが、先ほどもおっしゃっ ていましたが、確かにこども会の加入率はすごく下がっています。例えば、私の 小学校区でも、そういう実態は既に出ていまして、自治体単位でみますと、例え ば、13 自治会あったうちの 10 自治会がこども会はもう消滅しているということ で、その主な理由を聞いていますと、先ほどの発言の中で言われていましたよう に、親の負担がすごく大きくて、親があれこれ準備して、その上に子どもが乗っ かってくるというような運営の仕方をしているところがあって、とても負担が大 きいと言われていることが、大きな声としてはあります。ただ、子どもたちにと って、こども会は、魅力的な存在なのかということが、よく分からないのですね。 子どもたちが、一体、こういう場を望んでいるのかいないのか、どうなのだろう と思っています。それと、先ほど、社会教育振興課の方がおっしゃっていました が、こども会をサポートする人ということで、こども会サポーターを募集してい るということですが、実際、これはどの程度の効果が出ているのか、活躍されれ て、こども会の活動が非常に活発化しているよというふうになっているのでしょ うか。今後、このまま進めていきましょうという意見もあったのですが、私は、 こども会の活動は、もう少し子どもにとって魅力的な場にするということを考え た上で、こういう場づくりが必要なのではないかと思っているのですが、いかが でしょうか。

福田会長

はい、ありがとうございます。

魅力的かどうかは子どもに聞いてみないと分からない部分もあるかなと思いますが、子どもの主体性、自主性を、いかに活用しながらこども会活動が進められていくのかというところが変わってくるかなと思いました。また、事務局からも、実際どうなのかというところについて、ご意見、見解を頂戴できればなと思います。

それから、もう一点、こども会サポーターのほうですね、具体的に活用が進んでいるのか、もしくは、効果が出ているのかというご質問だと思います。事務局、

	いかがでしょうか。
社会教育振興	社会教育振興課の松本です。
課	こども会活動が子どもたちにとって魅力なのかというところですが、こども会
松本課長	活動は異年齢の交流の中で、いろんな活動をしていくというところが一つ大きい
	のかなと思います。子どもたちにとっては、家族や学校では経験できないような
	ことを、いろいろ保護者の方が考えていただいて、そういう体験ができる活動に
	なっているのではないかと思っております。また、高学年の子どもたちは、我々
	が思っている以上にしっかりしていて、こども会活動を主体的に引っ張っていっ
	てくれたり、安心して任せられるということで、6年間通じて、子どもの成長を
	感じられたという保護者の意見などもいただいております。加入率の問題という
	ところと、こども会活動の魅力というところがどうなのかというご指摘もござい
	ますが、こども会の意義であったり、楽しさを周知できる場であったり、方法を
	引き続き研究していきたいと思っております。
	また、こども会サポーターにつきましてですが、令和2年度はコロナ禍という
	こともあり、こども会活動が行われていないところも多くありましたので、令和
	元年度の実績でお伝えさせていただきますと、登録者数は 42 名おられます。そ
	の中で、やはり、百人一首のかるた大会の参加への練習というところで、読み手
	としてサポートに行っていただいたり、料理作りをされるというところのサポー
	ターなど、こども会のほうから要請があったら派遣させていただいているという
	ところですので、一定、機能しているのではないかと認識しています。
	以上となります。
福田会長	
福田会長	以上となります。
福田会長 宮島委員	以上となります。 事務局、どうもありがとうございました。
	以上となります。 事務局、どうもありがとうございました。 いかがでしょうか。宮島さん、何かありますか。
	以上となります。 事務局、どうもありがとうございました。 いかがでしょうか。宮島さん、何かありますか。 すみません。大人から考えると、確かに先程、社会教育振興課の方がおっしゃ
	以上となります。 事務局、どうもありがとうございました。 いかがでしょうか。宮島さん、何かありますか。 すみません。大人から考えると、確かに先程、社会教育振興課の方がおっしゃったように、その意義というのはそうだろうなと思っているのですが、こども会
	以上となります。 事務局、どうもありがとうございました。 いかがでしょうか。宮島さん、何かありますか。 すみません。大人から考えると、確かに先程、社会教育振興課の方がおっしゃったように、その意義というのはそうだろうなと思っているのですが、こども会の活動は土日が中心になると思うのですが、土日も非常に忙しい状況が、今の子
	以上となります。 事務局、どうもありがとうございました。 いかがでしょうか。宮島さん、何かありますか。 すみません。大人から考えると、確かに先程、社会教育振興課の方がおっしゃったように、その意義というのはそうだろうなと思っているのですが、こども会の活動は土日が中心になると思うのですが、土日も非常に忙しい状況が、今の子どもたちの実態ではないかと思うのですね。だからといって、魅力があればとい
	以上となります。 事務局、どうもありがとうございました。 いかがでしょうか。宮島さん、何かありますか。 すみません。大人から考えると、確かに先程、社会教育振興課の方がおっしゃったように、その意義というのはそうだろうなと思っているのですが、こども会の活動は土日が中心になると思うのですが、土日も非常に忙しい状況が、今の子どもたちの実態ではないかと思うのですね。だからといって、魅力があればという部分もあるのかもしれませんが、子どもの今の実態を考えたときに、こういったこども会活動という取組については、もう少し工夫が必要なのではないかなと思っていて、これまでどおりの形で進めていこうというよりは、子どもにとって、
	以上となります。 事務局、どうもありがとうございました。 いかがでしょうか。宮島さん、何かありますか。 すみません。大人から考えると、確かに先程、社会教育振興課の方がおっしゃったように、その意義というのはそうだろうなと思っているのですが、こども会の活動は土日が中心になると思うのですが、土日も非常に忙しい状況が、今の子どもたちの実態ではないかと思うのですね。だからといって、魅力があればという部分もあるのかもしれませんが、子どもの今の実態を考えたときに、こういったこども会活動という取組については、もう少し工夫が必要なのではないかなと思っていて、これまでどおりの形で進めていこうというよりは、子どもにとって、こういう場が本当に居心地いいんだよと、それから、成長の糧になるんだよとい
	以上となります。 事務局、どうもありがとうございました。 いかがでしょうか。宮島さん、何かありますか。 すみません。大人から考えると、確かに先程、社会教育振興課の方がおっしゃったように、その意義というのはそうだろうなと思っているのですが、こども会の活動は土日が中心になると思うのですが、土日も非常に忙しい状況が、今の子どもたちの実態ではないかと思うのですね。だからといって、魅力があればという部分もあるのかもしれませんが、子どもの今の実態を考えたときに、こういったこども会活動という取組については、もう少し工夫が必要なのではないかなと思っていて、これまでどおりの形で進めていこうというよりは、子どもにとって、
	以上となります。 事務局、どうもありがとうございました。いかがでしょうか。宮島さん、何かありますか。 すみません。大人から考えると、確かに先程、社会教育振興課の方がおっしゃったように、その意義というのはそうだろうなと思っているのですが、こども会の活動は土日が中心になると思うのですが、土日も非常に忙しい状況が、今の子どもたちの実態ではないかと思うのですね。だからといって、魅力があればという部分もあるのかもしれませんが、子どもの今の実態を考えたときに、こういったこども会活動という取組については、もう少し工夫が必要なのではないかなと思っていて、これまでどおりの形で進めていこうというよりは、子どもにとって、こういう場が本当に居心地いいんだよと、それから、成長の糧になるんだよというようなことを自覚できるか、そういうふうに考えられる場にするためにはどうすればいいかが重要なのではないかと思うのです。先程、子どもには聞いてない
	以上となります。 事務局、どうもありがとうございました。 いかがでしょうか。宮島さん、何かありますか。 すみません。大人から考えると、確かに先程、社会教育振興課の方がおっしゃったように、その意義というのはそうだろうなと思っているのですが、こども会の活動は土日が中心になると思うのですが、土日も非常に忙しい状況が、今の子どもたちの実態ではないかと思うのですね。だからといって、魅力があればという部分もあるのかもしれませんが、子どもの今の実態を考えたときに、こういったこども会活動という取組については、もう少し工夫が必要なのではないかなと思っていて、これまでどおりの形で進めていこうというよりは、子どもにとって、こういう場が本当に居心地いいんだよと、それから、成長の糧になるんだよというようなことを自覚できるか、そういうふうに考えられる場にするためにはどうすればいいかが重要なのではないかと思うのです。先程、子どもには聞いてないとおっしゃったのですが、私は、こども会の活動をどうするかということについ
	以上となります。 事務局、どうもありがとうございました。 いかがでしょうか。宮島さん、何かありますか。 すみません。大人から考えると、確かに先程、社会教育振興課の方がおっしゃったように、その意義というのはそうだろうなと思っているのですが、こども会の活動は土日が中心になると思うのですが、土日も非常に忙しい状況が、今の子どもたちの実態ではないかと思うのですね。だからといって、魅力があればという部分もあるのかもしれませんが、子どもの今の実態を考えたときに、こういったこども会活動という取組については、もう少し工夫が必要なのではないかなと思っていて、これまでどおりの形で進めていこうというよりは、子どもにとって、こういう場が本当に居心地いいんだよと、それから、成長の糧になるんだよというようなことを自覚できるか、そういうふうに考えられる場にするためにはどうすればいいかが重要なのではないかと思うのです。先程、子どもには聞いてないとおっしゃったのですが、私は、こども会の活動をどうするかということについては、逆に子どもに聞くべきだと思うんですね。それなしに、大人の勝手な思い
	以上となります。 事務局、どうもありがとうございました。 いかがでしょうか。宮島さん、何かありますか。 すみません。大人から考えると、確かに先程、社会教育振興課の方がおっしゃったように、その意義というのはそうだろうなと思っているのですが、こども会の活動は土日が中心になると思うのですが、土日も非常に忙しい状況が、今の子どもたちの実態ではないかと思うのですね。だからといって、魅力があればという部分もあるのかもしれませんが、子どもの今の実態を考えたときに、こういったこども会活動という取組については、もう少し工夫が必要なのではないかなと思っていて、これまでどおりの形で進めていこうというよりは、子どもにとって、こういう場が本当に居心地いいんだよと、それから、成長の糧になるんだよというようなことを自覚できるか、そういうふうに考えられる場にするためにはどうすればいいかが重要なのではないかと思うのです。先程、子どもには聞いてないとおっしゃったのですが、私は、こども会の活動をどうするかということについては、逆に子どもに聞くべきだと思うんですね。それなしに、大人の勝手な思い込みで、こういう場が本当に意義のあるものだよと考えることがいいのかという
	以上となります。 事務局、どうもありがとうございました。 いかがでしょうか。宮島さん、何かありますか。 すみません。大人から考えると、確かに先程、社会教育振興課の方がおっしゃったように、その意義というのはそうだろうなと思っているのですが、こども会の活動は土目が中心になると思うのですが、土目も非常に忙しい状況が、今の子どもたちの実態ではないかと思うのですね。だからといって、魅力があればという部分もあるのかもしれませんが、子どもの今の実態を考えたときに、こういったこども会活動という取組については、もう少し工夫が必要なのではないかなと思っていて、これまでどおりの形で進めていこうというよりは、子どもにとって、こういう場が本当に居心地いいんだよと、それから、成長の糧になるんだよというようなことを自覚できるか、そういうふうに考えられる場にするためにはどうすればいいかが重要なのではないかと思うのです。先程、子どもには聞いてないとおっしゃったのですが、私は、こども会の活動をどうするかということについては、逆に子どもに聞くべきだと思うんですね。それなしに、大人の勝手な思い込みで、こういう場が本当に意義のあるものだよと考えることがいいのかという気がしています。それと、最初に申し上げた、子どもたちの今の土日の過ごし方
	以上となります。 事務局、どうもありがとうございました。 いかがでしょうか。宮島さん、何かありますか。 すみません。大人から考えると、確かに先程、社会教育振興課の方がおっしゃったように、その意義というのはそうだろうなと思っているのですが、こども会の活動は土日が中心になると思うのですが、土日も非常に忙しい状況が、今の子どもたちの実態ではないかと思うのですね。だからといって、魅力があればという部分もあるのかもしれませんが、子どもの今の実態を考えたときに、こういったこども会活動という取組については、もう少し工夫が必要なのではないかなと思っていて、これまでどおりの形で進めていこうというよりは、子どもにとって、こういう場が本当に居心地いいんだよと、それから、成長の糧になるんだよというようなことを自覚できるか、そういうふうに考えられる場にするためにはどうすればいいかが重要なのではないかと思うのです。先程、子どもには聞いてないとおっしゃったのですが、私は、こども会の活動をどうするかということについては、逆に子どもに聞くべきだと思うんですね。それなしに、大人の勝手な思い込みで、こういう場が本当に意義のあるものだよと考えることがいいのかという

した形で、こども会の活動という部分を持つということがどうなのか。大人の感

	覚としては必要だと思っていますが、子どもたちに聞いてみたいと思っていて、 それとうまくマッチさせないと。こども会の活動は、大人にとって負担が大きく、 勘弁してほしいというのが一方の大人の声でもあるわけですから、このままの形 で進めるというのは、いくらサポーターの導入が効果があるとしても、少し考え るべきかなと思います。
福田会長	どうもご意見ありがとうございました。
	今後、あり方を検討していっていただきたい。もしくは、子どもの意見を聞いてほしいというお話があったと思いますが、こども会やスポーツ少年団に関わらず、次世代育成支援行動計画を立てていくプロセスで、当事者である子どもたちの意見をどう酌み取っていくかというところと関わってくるかなと思いますので、貴重なご意見として頂戴したと思います。また、こども会活動をどう、てこ入れしていくのかも、あわせて検討していただければと思います。もしよろしければ、どうでしょうか、実際子どもさんを育てておられている方、もしくは、育てられていた方で、こども会へのご意見などがあれば頂戴したいなと思います
	が、どなたかいらっしゃいませんか。
	はい、下田平さん、どうぞ。
 下田平委員	下田平です。
THITSE	すみません、もう孫の代になっているのですが、孫たちも、私の子どももです
	が、みんなこども会に入っています。そんなにたくさん活動回数はないのですが、
	すごく楽しみに行っています。クリスマス会や、お祭りの準備を、すごい狭いと
	ころでやっているのですが、子どもたちはそれなりに時間を作って、楽しみに喜
	んでやっています。今までもずっと見てきていて、やはり、地域での活動といい
	ますか、ご近所での活動は、すごく大事だなと思います。ただ、親御さんたちが、
	全部、お膳立てをしてやっていくので、すごい負担がかかっているなと思ってお
	ります。子どもたちを、見守る形で、子どもたちがやりたいことはさせるという
	ことでいいのかなと。私は、こども会は必要だと思います。
福田会長	はい、ありがとうございます。
	濱園さん、お願いします。
濱園委員	濱園です。
	うちの地域では、もう、校こ連(小学校区こども会育成連絡協議会)が休止状
	態になっています。こども会が、もうバラバラになっている状態で、例えば、学
	校内の行事があるときに、お声掛けさせてもらう団体がないということで、学校
	を通してしか、子どもたちへメッセージを送れないという状態になっています。
	こども会という団体を通して、子どもたちにメッセージを送れるということで、
	こども会は絶対必要だなと、実感しています。
	以上です。
 福田会長	はい、ありがとうございました。
	青少年指導員連絡協議会から、濱園さんは来ていただいて、様々な連絡調整に
	有効だというご意見かなと思います。ありがとうございます。
	ほか、よろしいでしょうか。
I	1 .5 (5.) (5.) (6.)

	脇條さん、お願いします。
 脇條委員	市民委員の脇條です。
	うちの地域の周りもこども会はあるのですが、最近、マンションがいっぱい建
	っていまして、そのマンションの方のこども会というような色合いが濃くて、そ
	のこども会は、そこの中での組織といいますか、その内輪でという感じが強くて、
	知っている人も少なかったりする部分があるので、一軒家の地域の人だとそこに
	入って広げていくのも、難しい状況だったりするのかなと思ったりします。
 福田会長	はい、ありがとうございます。
	マンションごとに自治会があったら、こども会もマンションでやってしまうの
	で、近隣の方々からすると、ごくごく近くに住んでいるのに、なかなか活動が一
	致しないようなところもあるんでしょうかね。
	はい、ありがとうございます。
	こども会についての多様な意見交換をさせていただけたかなと思います。実態
	把握と、活動として無理のない範囲で、どう進めていけるのかについて、今後も
	検討していっていただければと思いました。
	どうもありがとうございました。
	それでは、68ページから93ページまででしたが、ほかにございますでしょう
	カシ。
	一
 西之辻委員	西之辻です。
	78 ページのユースプラザの運営についてお伺いしたいのですが、私は個人的
	には、若者の居場所づくりには大賛成で、ありがたい事業だと思っていますが、
	できる限り開設の時間帯を広げていただきたいです。理想的には、365 日、24 時
	間体制で、子どもが受け入れできるような場所があったらいいなと思っています
	が、日中と夜間で場所が変わることは、子どもにとっては、どこに行ったらいい
	 か分からない状態が起こるので、良くないとは思うのですが、この事業の最終的
	 な開設目標というのは、どういう状況を目指しているのかをお伺いしたいです。
	できれば毎日というのが理想的だと、私は思うのですが、最終的に目指すところ
	の時間帯を教えていただきたいと思います。
 福田会長	西之辻委員、どうもありがとうございました。
	ユースプラザについて、365 日、24 時間開けていただきたいということで、今
	はそうではないということだと思うのですが、実際、今、どれぐらいの時間、開
	館されているのか、今後時間を広げていくようなことが考えられるのか教えてい
	ただきたいなということと、最終的には、どういう形が目標としてあるのか。事
	務局にお伺いしたいと思います。
	事務局、いかがでしょうか。
こども政策課	こども政策課、東井です。
東井課長	ユースプラザにつきましては、平成 30 年度から開設しておりまして、月曜日
	から日曜日までフルで24時間というのは、到底最初からは考えられないことで、
	まずは、週4日、朝9時から夜9時まで開設させていただいております。運営は

	委託方式で、各事業者にしていただいていますが、ユースプラザを受けていただける事業者の力量もありますので、5つのユースプラザを、今、週4~週5日、朝9時から夜の9時まで開設していただいています。施設のほうも、公共施設等を活用しており、開館時間が決まっていますので、朝9時から夜の9時とさせていただいていますが、徐々に利用者も増えてきておりますので、利用される子ども・若者の意見も聞きながら、24時間というのは難しいかも分かりませんが、開設日を増やしていくことは、考えていかなければと思っております。以上です。
福田会長	どうもありがとうございました。
	さすがに、24 時間、365 日というのは難しいですが、前向きに開設時間の増に
	ついて検討していただけるというお話でした。
	ユースプラザの運営に関しまして、ほかにご意見ございますでしょうか。よろ
	しいですか。
	ありがとうございます。
	西之辻委員、どうぞ。
西之辻委員	事業をスタートする段階で、この事業は、こうあるべきという最終的な目標を
	設定せずに、できるところからやっていくというタイプの事業なんですか。この
	ユースプラザという事業を立ち上げた段階で、できるところからやっていくとい
	うよりも、これを目指したいというところに対して、できるところを積み上げて
	いくという具合にやっていってほしいと思うんですが、いかがでしょう。
福田会長	事務局、どうぞお願いします。
こども政策課	目指すところは、先ほども申し上げましたように、時間は 24 時間というのは
東井課長	厳しいのですが、週7日のうち6日開設できたらなという目標は持っております
	が、週4日からスタートしていますので、徐々に、状況を見ながら増やしていけ
	たらなというところでございます。
福田会長	はい、どうもありがとうございました。
	西之辻委員、どうぞ。
西之辻委員	はい。いや、その状況は分かりますが、できる限り日曜日も開いている状況を
	作っていくというところを目指してほしいなと思うのですが、よろしくお願いし
	ます。
福田会長	はい、どうもありがとうございました。
	私の記憶では、日本の施策は、就学前の子ども、もしくは、学校に通っている
	年齢までの施策が多いのですよね。諸外国では、チャイルドアンドユースケアと
	いう言葉がありますが、ユースの部分への支援というものが、なかなか見えてこ
	ないみたいな話をしていたことがあったのですが、平成30年から、ユースプラ
	ザを立ち上げてくださっているということと、これで終わりではなく、できるだ
	け長い時間、もしくは、曜日を開けるという目標を持っておられるということを
	聞けて、私としては良かったなと思いました。また、より子どもたちが活用でき
	るような、ユースの皆さんが活用できるようなプラザの運営を考えていっていた
	だければなと思いました。どうもありがとうございます。

	ほか、よろしいでしょうか。
	(質問者等なし)
	はい、ありがとうございました。
	続きましては、「社会的な支援が必要な子どもや家庭への支援の展開」という
	ところで、94ページからになります。94ページから123ページまでの間で、ご
	意見頂戴したいなと思いますので、そちらに移ってまいります。
	いかがでしょうか。94ページからでございます。
	中村委員、お願いします。
中村委員	少し戻ってしまうのですが、91 ページの青少年の野外活動のことですが、以
	前、キャンプ場以外の場所を家族で利用したのですが、草が結構生い茂っていた
	りとか、倒木があったりして、整備されていない場所が結構ありました。これを
	利用して、プレイパークの利用などはできないか、検討してほしいと思っていま
	す。
	以上です。
福田会長	
	青少年野外活動センターを、プレイパーク等で活用できないかというご意見だ
	と思いますが、事務局、いかがでしょうか。プレイパークは、茨木市にあります
	かね。事務局、もし把握できていたら、教えていただければと思いますが、いか
	がでしょうか。
こども政策課	
東井課長	今現在されているのかどうか分かりませんが、水尾地域の公園で、自主的にN
	PO等が関わってされているというのは、数年前聞いたことがございますが、現
	状は把握できておりません。
福田会長	
	今後、中村委員のご意見では、青少年野外活動センターを、もっと幅広く活用
	していただきたい。そういうご意見だということですかね。
中村委員	そうですね。あと、学生ボランティアや、地域、シニアのボランティアの方の
	力を借りて、整備して、有効利用してほしいと思います。
福田会長	ありがとうございました。
	どうでしょうか、こちらにつきまして、社会教育振興課ですかね、何かあれば、
	お願いしたいと思いますが。
社会教育振興	社会教育振興課、松本です。
課	今、ご意見いただきましたキャンプ場以外のところということでございます
松本課長	が、野外活動センターの施設内で、キャンプ場以外に自由に使えるピクニックエ
	リアのことでしょうか。
中村委員	そうです。そのとおりです。
社会教育振興	はい、ありがとうございます。倒木であったり、草が生い茂ったりしていると
課	ころに関しましては、年中計画的に整備しておりますので、引き続き対策のほう
松本課長	は続けていきたいと思っております。今現在、ピクニックエリアに関しましては、
	キャンプ以外に、野外活動センターを訪れた方が、自由に使っていただくエリア

	ということで開放していますので、頂いたご意見等を踏まえまして、今後どうい
	うことができるかは考えていきたいと思います。
	ご意見ありがとうございました。
中村委員 	ありがとうございます。
福田会長	中村さん、どうもありがとうございました。
	そういった体験学習のようなものが、一定注目されている部分もあると思いま
	す。プレイパークもそうですし、あとは、「森のようちえん」であるとか、様々
	な野外活動が、子どもにポジティブな影響があるということが明らかになってい
	ると思いますので、いろんな活用の方向を、検討いただければなと思います。ど
	うもありがとうございます。
	中村さん、よろしいですかね。
中村委員	はい、ありがとうございます。
福田会長	はい、ありがとうございます。
	それでは、すみません、元に戻りまして、94 ページから 123 ページですね、
	「社会的に支援が必要な子どもや家庭への支援の展開」の部分について進めてい
	きたいと思います。いかがでしょうか。
	(質問者等なし)
	よろしいでしょうか。特になければ、次に進めさせていただきたいなと思いま
	すが、続きましては、124 ページからになります。124 ページから 130 ページで
	ございますが、こちらは、「仕事と生活の調和、ワークライフバランスの実現に
	向けた施策の展開」というところになっておりますが、こちらについてご意見頂
	戴したいと思います。いかがでしょうか。
	中村委員、お願いします。
中村委員	すみません。また前後してしまうのですが、109 ページのあけぼの学園の運営
	について、質問と意見があります。あけぼの学園を、私の次男が1年間利用しま
	して、お世話になったのですが、定員に対して、利用希望人数が結構多く、支援
	に必要な子どもが入園できない状態になって、2019 年には待機児童みたいな感
	じになっていたのですが、その後、どのような状況か、教えてほしいです。
福田会長	ありがとうございました。あけぼの学園ですね。こちら、すみません、戻りま
	して 109 ページですが、あけぼの学園の運営に関しまして、待機児童が今でもあ
	るのかというご指摘だと思いますが、事務局、いかがでしょうか。
中井課長	あけぼの学園ですが、入園申込みの段階では、在園児が進級することもござい
	まして、定員 64 名を超えるケースが結構あるのですが、年度当初の 4 月には 64
	人以内で、希望されている方が入園していただいているような状況にございま
	す。それはなぜかといいますと、幼稚園や保育園と併願でご希望されている方が
	いらっしゃいまして、あけぼの学園のほうが先に申込みを受けつけますので、そ
	の選考の段階では、少しお待ちいただくようなことがありましても、最終、保育
	所・幼稚園等に決まりましたということで、ご辞退を受けて、最終、皆さんがご
	入園していただくというような状況にはなっております。
L	/ YEN U C Y ICIC Y C Y A / '&1/\1/\1/\C Y は Y C Y U Y A Y o

	以上です。
 福田会長	なるほど。事務局の説明分かりました。
	中村さん、いかがですか。中村さんは、実際待機だったのですかね。
中村委員	私は待機ではなかったのですが、知り合いの方で待機になっている方がいらっ
	しゃったので質問させていただきました。
福田会長	なるほど、分かりました。ありがとうございます。調整の中で、一定枠の中に
	収まっているということかなと。最終決定するプロセスの中で、待っている時期
	が一定出てくるという流れですかね。はい、分かりました。
中村委員	すみません、あけぼの学園を1年間利用していたので、あと、何点か質問があ
	るのですが、よろしいでしょうか。
福田会長	どうぞ。
中村委員	すみません。公立の幼稚園と保育園への周知ということが、ここに書いてある
	のですが、私立の幼稚園や保育園への周知は考えていらっしゃいますか。
	あと、あけぼの学園に年少で入園しても、年中で転園したり、年長で発達が定
	型のほうに近づいてきたので、転園する方っていらっしゃると思うのですが、そ
	の場合の加配や支援に理解のある園が、今の段階だと、そんなにないのかなと感
	じていたので、公立の園や幼稚園が減ってしまうということですが、そのあたり
	のことは、どのように考えていますか。
	あと、公立の認定こども園で支援に必要な子どもが、優先的に入れる枠などは
	作る予定はあるのでしょうか。
	以上です。
福田会長	はい、ご質問を3ついただきました。
	事務局、いかがですか。まず、私立への周知は行わないのかということが一つ
	目だったと思いますが、いかがでしょうか。
子育て支援課	はい、子育て支援課の中井です。
中井課長	あけぼの学園では、障害支援の充実に努めることを目的に、公立幼稚園、それ
	から、保育所等の職員を対象に公開保育を実施しております。その際には、ご案
	内を差し上げているのですが、私立幼稚園さんのほうには、これまでご案内がで
	きていなかったようですので、今後ご案内をさせていただいて、連携を図ってま
	いりたいと思います。
福田会長	はい、どうもありがとうございます。 1点目、今後、連携を図っていきたいというところだったと思います。
	T 点 日、
 子育て支援課	
	されてから6月ぐらいまでの間に、各園と日程調整を行い、園を訪問させていた
 子育て支援課 中井課長	園などに転園する際の、公立幼稚園が減る分について、何らかの対応があるのかというご質問だったと思いますが、いかがでしょうか。 子育て支援課の中井です。 あけぼの学園から公立幼稚園や認定こども園等へ転園される方も一定数おられます。その場合につきましては、あけぼの学園で、まずは引き継ぎシートを策定させていただきまして、引き継ぎをさせていただいております。その後、転園なれてからの見に、名園は日和課費な行い、関わま即は出ていた

	だいて、状況等を確認させていただいているというような状況でございます。
福田会長	はい、ありがとうございました。
	それでは3つ目ですね、事務局、お願いします。
保育幼稚園総	すみません、保育幼稚園総務課の濱田です。
務課	現状におきましては、考えておりません。理由としましては、設けた枠以上の
濱田参事	方が、もし来られた場合は、どうするのかということもありますし、枠を決めず
	ともお受けする方はお受けしているという現状もありますので、おっしゃってい
	ただいている部分については、必要ないと考えております。
	以上です。
福田会長	はい、事務局、どうもありがとうございました。
	中村さん、事務局としては、そういうことだということでございますが、よろ
	しいでしょうか。
中村委員	はい、分かりました。ありがとうございます。
福田会長	はい、どうもありがとうございました。
	ちょうど、これから公立幼稚園の再編が進んでいきますので、きっと、今日頂
	いたご意見を踏まえて、再編を進めていただけるのではないかと思います。どう
	もありがとうございました。
	ほか、よろしいですか。
	すみません、元に戻ってもよろしいですか。124 ページから 130 ページですね。
	仕事と生活の調和、ワークライフバランスの実現に向けた施策の部分について見
	ていきたいなというところで、元に戻りましたが、よろしいですかね。
	(質問者等なし)
	はい、ありがとうございます。それでしたら、次ですね、「社会全体で子育て
	家庭や、子ども・若者を支援できる環境づくり」に移ってまいりたいと思います。
	こちら、131 ページから 145 ページまででございます。
	いかがでしょうか。ご意見頂戴したいと思います。
脇條委員	はい。133ページの「次代を担う若者世代との未来ミーティング」の中で、達
	成したことの中に、中学生からの提案の1つを実現することができたとあったの
	ですが、具体的には、どのような提案が出て、どのような提案が実現できたのか
	を、知りたいのですが。
福田会長	はい。委員、どうもありがとうございました。
	それでは、この 133 ページの「実施」の部分で、「中学生にとって身近なテー
	マを選定し、グループワークにサポート役をつけたことで、活発な意見交換がで
	きた。また、中学生からの提案のうち、1つを実現することができた。」とあり
	ますが、具体的に何が実現できたのか、もしくは、何が実現できなかったのか、
	もし分かれば一緒に教えていただけないかなと思いましたが、事務局、いかがで
_ 10.2	しょうか。お願いいたします。
こども政策課	すみません。こども政策課、東井です。
東井課長	ここの取組を担当するのが、市民生活相談課でございまして、本日、職員も絞

	一って参加させていただいておりまして、出席しておりませんので、また後日、市
	民生活相談課のほうに問合せをいたしまして、各委員の皆様に、今のご質問のご
	回答をメール等でお知らせさせていただこうと思いますので、よろしくお願いし
	ます。
福田会長	はい、事務局、どうもありがとうございました。
	ポジティブな内容で、早く中身を知りたかったなと思いましたが事務局からの
	│ 回答を待ちたいなと思います。脇條さん、どうもご意見ありがとうございました。
	ほか、いかがでしょうか。よろしいですか。
	 西之辻委員、どうぞ。
 西之辻委員	138ページの「民生委員・児童委員、地区福祉委員会の活動支援」というとこ
	ろですが、我々、民児協と一緒に、子どもわいわいネットワーク茨木ということ
	で協力をしていただいて、いろんな事業を展開しているのですが、ネットワーク
	化という意味では、横の団体とのつながりというか、何をベースに、何をつない
	でいくのか、誰がコアになって、ネットワークの網目をつないでいくのかという
	ことが、明確になってないような気がするのです。とりあえず事業はやっていま
	すが、その横のつながりという意味では、まだまだ希薄な感じがするのですが、
	このつながりを続け、さらに強力なものにしていって、子どもの情報が横につな
	がっていくようになっていけたらいいなと、考えているのですが、その点につい
	てはいかがでしょうか。
福田会長	ありがとうございます。
	どうやって上手くつながりを作っていくかということですね。
	すみません。子どもわいわいネットワーク茨木というのは、どんな事業といい
	ますか、どんな活動になるのですかね。
	西之辻委員、お願いします。
西之辻委員	はい。茨木市と、民児協(民生委員・児童委員連絡協議会)と、市内児童養護
	│ │ 施設3か所と、それから、いろんな幼稚園や保育園の団体等が集まっているネッ
	│ │トワークの集まりなのですが、子育て支援をするという事業がメインになってお
	りまして、いろんな形で子育て支援の事業はやっているのですが、事業ごとにい
	ろんな団体が集まってやっているというところはすごくいいのですが、子どもの
	情報が横につながるかどうかというのが、つながりが薄いかなという気がしてい
	ます。
福田会長	はい、ありがとうございます。
	分かりました。様々な、子どもに関わる団体が集まって、事業を展開されている。
	るというところで、どうやったら、子どもの情報を横につなげるかというところ
	かと思いますが、もしかしたら、守秘義務などの部分にも関わってくるのかなと
	思いますが、事務局としては、いかがでしょうか。
	これは、地域福祉課ですが、今日、地域福祉課は来てないですかね。
	西之辻委員、地域福祉課は今日来てくださっていませんので、後日、事務局か
	らの回答を頂戴したいと思います。ご指摘どうもありがとうございました。
西之辻委員	はい。

福田会長	ほか、どうでしょうか。よろしいでしょうか。
	それでは、森委員、お願いします。
森委員	森です。
	127ページの父親対象の子育て支援講座の件ですが、令和2年度は7回実施さ
	れて 416 人ですが、令和 6 年の目標は 10 回実施で 100 人に減っているのはなぜ
	かということと、もし分かればで結構ですが、茨木市の市職員で男性の育休の取
	得率は、増えているのか、現状維持なのか、その辺りを教えてください。
	以上です。
福田会長	森委員、どうもありがとうございました。
	人権・男女共生課は、今日は来てくださっていますね。では、お願いいたしま
	す。
人権・男女共	人権・男女共生課、松山です。
生課	最初のご質問についてですが、令和2年度については、男性のほうは、家事・
松山課長	育児参加について小さい講座ではなくて講演会をしましたので、参加人数が、増
	えているという状況であります。令和6年度の目標については、1講座 10 人と
	いうところで、考えておりましたので、今回、人数が減っているように見えてい
	るというところでございます。
	それから、2つ目の、市職員の育休の取得率でございますが、令和2年度の数
	字としましては、18.2%となっております。
	以上です。
こども政策課	こども政策課、東井です。
東井課長	
福田会長	はい、お願いします。
こども政策課	130ページの特定事業主行動計画(第4期)の運用は、人事課が担当している
東井課長	のですが、先ほど、人権・男女共生課長が言われたとおり、令和2年度は18.2%
	で、過去を比較しますと、平成 29 年度が 7.7%、平成 30 年度が 7.4%、令和元
	年度が4.2%と減っていたのですが、令和2年度の取得率は2桁台に増えている
	という状況です。
福田会長	補足ありがとうございました。
	森さん、いかがでしょうか。よろしいですか。
森委員	ありがとうございました。
福田会長	はい、ありがとうございました。
	100 人が目標で 416 人はなぜかというところですが、大きな講演会があったと
	いうことですね。どうもありがとうございます。
	ほか、いかがでしょうか。
	前田委員、どうぞ。
前田委員	前田です。よろしくお願いします。
	すみません、142 ページから 143 ページになるとは思いますが、防災に関する
	件です。私が今住んでいる地域が、新しく開拓された場所で、もともとゴルフ場
	だったところなのですが、防災のスピーカーが私たちの地域のほうに向いておら

_	,
	ず、Jアラートであったり、放送されたりしていることが、聞き取りにくいことがあるんです。公民館の方とか、学校のほうには、聞こえにくいですとお伝えし
	ているのですが、ほかにも、新規開拓された地域で防災スピーカーが向いてない
	地域もあるのではないかという意見ですが、いかがでしょうか。
福田会長	前田委員、どうもありがとうございました。
	防災のスピーカーですよね。どうやら声が届いてない地域があるのではないか
	というご意見だったと思いますが、これに関しましては、危機管理課の担当です
	が、本日出席されてないですので、また追ってご回答いただくという形でよろし
	いですかね。
	はい、前田委員、どうもありがとうございました。
前田委員	ありがとうございました。
福田会長	ほか、いかがでしょうか。ご意見頂戴したいと思います。
	はい、濱園委員、お願いします。
濱園委員	濱園です。
	143ページの防犯カメラの設置についてなのですが、防犯カメラの設置につい
	て以前学校に聞いたところ、学校内に向けての防犯カメラは設置出来るが、学校
	から外に向かって、道路に向かっての設置は出来ないということを聞いたので
	す。学校の門の前であったり、そういうところで、若い子が集まっているという
	ことが多々あるのですが、学校から外へ向かっては防犯カメラが設置できず、ご
	みはたまっているものの、どういう人間がそこに集まっているのかが確認できな
	いので、結構、パトロールして回ったりしないといけないのです。学校から外へ
	向かっての設置ができないのかを確認したいです。
福田会長	はい、ありがとうございます。
	こちらについても、後日、担当課からご回答いただけるというふうに思います
	ので、回答を待ちたいなと思います。ありがとうございます。
	ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。
	宮島委員、どうぞ。
宮島委員	すみません。140ページの公園に関する件ですが、公園等の整備及び維持・補
	修ということで事業が展開されているのですが、まず、令和2年度だったら4か
	所、これは何をしたのか、具体的に分かりません。また、令和6年の目標値とし
	ては3~5か所ということですが、残っているうちの、さらに3~5か所という
	ことになるのか、全体の中で、そのことを示しているのか、さらに評価Aの根拠
	が何かということを知りたいです。
	あと、公園をどう考えているかですね。公園は誰のために作られているのか、
	どういうふうに使ってほしいのかという部分が、未成熟ではないかなという気が
	しています。公園を考えるときに、子どもたちが遊ぶということは主に考えられ
	るのですが、子どもの中でも、例えば、障害を持った子どもたちもいますよね。
	いろんな子どもたちがそこで遊びたいと思っているはずですが、そこの部分の配
	慮が公園の設計の中でされているのかどうか。それに伴って、今後、整備、維持・
	補修に向けて手を加えられていくのかがよく分からないのです。私も十分に知っ

	ているわけではないのですが、今、インクルーシブ公園というのが、非常にうた
	われているのですね。東京都でも、それ以外の都市でも、公園をみんなが使える
	ように、大人も、子どもたちも、障害を持った子どもたちも、一緒に、遊べるよ
	という形で、このインクルーシブ公園というのが、すごい求められてきているの
	です。このあたりのことはどう考えているのかということも含めて、ちょっとお
	考えを知りたいなと思います。
 福田会長	
	こちらは公園緑地課ですかね。こちらも今日はいらしてないですかね。いくつ
	かご指摘があったかと思います。1つは、そもそも、その実施事業が公園等の整
	備及び維持・補修というところで、具体的に何をしたのかということ。それから、
	評価Aについては、何をもってAとしたのかということを教えていただきたいと
	いうことでしょうかね。あとは、そもそも公園がいくつあるのか、その対象をど
	う規定しているのかということですよね。それから、最終的に、この会議の中で
	も、障害をお持ちのお子さんについての話は、何度か出てきておりますが、イン
	クルーシブ公園といったものが茨木市にあるのか、もしくは、今後整備の予定が
	あるのかですね、また、追ってご回答いただけるかなと思います。
	宮島委員、どうもありがとうございました。
	この件に関しまして、他の委員の皆さん、何か補足、ご意見等あればお伺いし
	たいです。よろしいですかね。
	(質問者等なし)
	はい、ありがとうございます。
	今のところで 145 ページまでというところになろうかと思います。
	続きまして、子どもの貧困対策でございます。こちらは 146 ページから 157 ペ
	ージまでですので、ご意見頂戴したいと思います。委員の皆さん、どうぞよろし
	くお願いいたします。
	それでは、まず、脇條さんにご意見いただいて、その後で、下田平委員にお願
	いしたいと思います。
	脇條さんからお願いいたします。
 脇條委員	すみません。脇條です。
	│ │ 中学校の給食の話ですが、こちらで言っていいお話か分からないのですが、今、
	 選択式の給食ということで、希望者のみが注文して食べるような感じになってい
	 るのですが、これを全体に広げる予定はないのかなと思っていまして、全体にな
	ることによって、貧困家庭の栄養を取得する、何か貴重な機会になったりもする
	という話を聞いたことがあるので、全体がみんな食べられるように変更していく
	予定がないのかを聞きたいなと思っています。
 福田会長	
	すみません、給食に関するご意見ですが、こちらについてはいかがですかね。
	これは、次世代育成支援行動計画 (第4期) の中に定めてありましたでしょうか。
 こども政策課	こ40/は、 が世代自成文版刊動計画 (第4期) の中に足めてめりよしたでしょうが。 こども政策課、東井です。
東井課長	給食の関係は、この第4期計画には記載しておりません。おそらく、中学校給

	食のことだと思われますが、現在、選択式での提供という形になっています。担
	当が、教育委員会の学務課になるのですが、今後は、中学校給食を全生徒にとい
	うことで計画も立てられておりますので、広がっていくことになると考えていま
	す。詳細について、何かお聞きしたいことがありましたら、先ほどのご質問とま
	とめてお答えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。
L 福田会長	はい。事務局、どうもありがとうございました。計画に具体的に記しているも
	のではないですが、別途、給食については計画があるということでございました。
	ので、今後の予定については、脇條さん、そういうことでいいですか。それ以外
	にも、何か確認したいことがあれば、今、ご意見頂戴できればと思いますが。
 脇條委員	できるだけ早期にやっていただけたらいいのかなというところはあります。
	はい、ありがとうございます。なるべく早くということと、今後の計画につい
福田会長	
	て追って回答させていただきます。どうもありがとうございました。
	それでは、すみません、お待たせしました。下田平委員、お願いしたいと思い
	ます。
下田平委員	下田平です。すみません、151ページですが、生活保護世帯に対する健康管理
短四人目	支援は、これは本人の希望がないと支援してもらえないのでしょうか。
福田会長	はい、ありがとうございます。
	こちらは生活福祉課ですが、どうでしょうか。
生活福祉課	生活福祉課の莫根です。よろしくお願いします。
莫根課長	生活保護世帯の方に対する健康管理支援につきましては、健康管理面で問題の
	ある世帯を、こちらのケースワーカーが家庭訪問の際などに、世帯の方からそう
	いうお話を聞いたりした場合に、健康管理支援員と一緒になって、その家庭に入
	っていって、どのような問題があるのかを把握した上で、個々のケースに応じた
	支援をしております。
	以上です。
下田平委員	ありがとうございます。今、コロナなのですが、12歳以上は、もうコロナワク
	チンを打てるようになっていると思うのですが、そこの家庭が養育能力の低い養
	育者であって、ご本人はともかく、その子どもさんが接種できないということが
	あるかと思うのですが、その辺りはどうでしょうか。
生活福祉課	コロナのワクチン接種に関してですかね。
莫根課長	
下田平委員	はい。
生活福祉課	ワクチン接種については、あくまでも、それぞれのご家庭のご判断、特に小さ
莫根課長	い子どもさん、就学の時期の子どもさんについては、意見が分かれるところかと
	は思いますが、接種したいという場合に、どういうふうにすれば申込みできるの
	かとかいう相談がありましたら、ご案内はしております。
下田平委員	すみません、もう一つ、今持っているケースですが、女の子なので、生理にな
	りまして、対応の仕方が全然分からなくて、学校に行っても、どうしたらいいの
	か分からなくて不登校になったというケースもあるのですが、そういうときは健
	康管理支援の保健師さんや学校との情報共有はされるのでしょうか。

生活福祉課	学校からそのような話がありましたら、ケースワーカーと一緒に健康管理支援
莫根課長	員を同行して話を聞かせてもらったりということはございます。
下田平委員	学校のほうからお願い、依頼という形になるのでしょうか。
生活福祉課	どのような状況であるかということを、まずこちらが把握しないことには、こ
莫根課長	ちらも動きようがありませんので、その辺りの状況を認識して、どういう支援が
	必要なのかを判断して、生活福祉課だけではなく、関係課や学校も含めまして、
	全体でどのように対応していくかという話合いを持ったりすることはございま
	す。
下田平委員	はい、分かりました。ありがとうございます。
福田会長	はい、どうもありがとうございました。
	茨木市でも要対協(要保護児童対策協議会)が設置されていると思いますので、
	そちらのほうで具体的なケースとして検討していっていただいてもいいような
	ケースなのかなと、今お話を伺いながら思いました。また、学校関係機関と連携
	しながら適切な支援が受けられるように支えていってもらえればなと思いまし
	た。どうもありがとうございます。
	ほか、いかがでしょうか。
	それでは、宮島委員、それから西川委員と続けてお願いしたいと思います。
	まず、宮島委員からお願いします。
宮島委員	はい、宮島です。
	153ページの「子ども食堂への支援」ということに関してですが、実績は16か
	所あるということで、令和2年度、令和3年度も一応 16 か所設置されていると
	いうことですね。目標値は、令和6年度では20か所とされて、今、時点での評
	価はBとされていますが、目標値を 20 か所にした根拠がよく分からないという
	ことと、子ども食堂は子どもの貧困の部分の根幹の部分があるので、拡充をする
	べきだと思っています。今、若干の補助金を出されているのは知っているのです
	が、今後 20 か所に増やしたいという部分の、目標値の妥当性と、その内容、子
	ども食堂がどうあるべきなのかという部分をどの程度考えてらっしゃるのか、よ
	く分からないので、そこの部分を教えてほしいのと、子ども食堂は、私自身とし
	ては拡充していただきたいと思っています。子ども食堂は、子どもの放課後の居
	場所としても非常に重要な意味を持つので、地域の人も出入りできるように、そ
	れから、地域の人間であれば、高齢者や、貧困と言われない部分の一般の子ども
	たちも出入りできるように、そして、出入りしやすい場所にするという考え方を
	持っていただきたいです。それから、行政からは補助金という部分のほか、食品
	ロスとか、そういった部分も、しっかり情報として集めて、企業にも働きかけて、
	かなり強い力で支援を行っていただきたいと思っているのですが、どうでしょう
	カゝ。
福田会長	はい、ありがとうございました。
	子ども食堂ですね、いくつかご意見頂戴したかなと思いますが、一つは、令和
	6年の目標 20 か所がどこから来たのかというところかと思います。そのほか、
	子ども食堂への大きな期待を語っていただけたかなと思いますが、事務局、いか

	がでしょうか。
こども政策課	こども政策課、東井です。
東井課長	目標値につきましては、あくまでも実績ベースで考えておりまして、市は補助
	金ではなく、報償金をお渡ししていまして、活動自体は地域のNPOであったり、
	任意団体が自主的に立ち上げられたりされている活動ですので、市が何か内容
	や、箇所数を増やすというような目標は想定しておりません。しかし、11月号の
	広報誌に今回特集で6ページほどの子ども食堂の記事を掲載しておりまして、市
	としては自主的に立ち上げられている子ども食堂さんと連携して、宮島委員がお
	っしゃった貧困家庭の子どもだけではなく、広く地域の子どもや保護者、地域の
	方が利用できるように支援してまいりたいと思っています。それから、子ども食
	堂の箇所数ですが、今回の広報誌を見て、現在、2か所ほど問合せをいただいて
	おりまして、今後、開設に向けて進めていっていただけるというお話も聞いてお
	りますし、特に困っている家庭の子どもさんだけではなく、親子でもいいですよ
	とか、地域の高齢者も一緒に交流したり、大学生も関わったりというような子ど
	も食堂もありますので、徐々に、広がってきているかなと思っています。今後に
	つきましても、市のほうで情報発信のほか、どうすれば広がっていくかというよ
	うなところを、各子ども食堂を実施されている団体さんとも情報共有しながら進
	めていけたらなと考えております。
福田会長	事務局、どうもありがとうございました。
	一定、宮島委員の考えている方向性と、事務局も一緒なのかなというところで
	すが、民間ベースでやっていただきたいというところかなと思います。
	関連して、西之辻委員、どうぞ。
西之辻委員	私、NPOで茨木子ども食堂を、今9か所で開催していまして、今は、コロナ
	で半分ぐらいしか出来ていないのですが、市から1か所当たりいくらという援助
	をいただいて、ほぼ自主的に運営ができています。色々な食材を寄附していただ
	く方もいらっしゃいますし、地域で手伝ってくださる方も沢山いらっしゃるの
	で、自立できているかなというところです。子どもが 100 円、大人は 300 円とい
	うことで、いくらかお金をもらっていますので、材料代も含めてとんとんぐらい
	にはなっている状況です。ただ、もっと広げていきたいなと思っていますし、い
	ろんな形で支援していただくのはありがたいですし、私は各小学校区に1か所以
	上は子ども食堂があって、できるだけ色々な人が来てもらえる環境で、高齢者も
	手伝いにきたり、子どもの相手をしたり、学生さんが勉強を教えたり、遊びを手
	伝ってくれたり、色々なことをしてくれていますので、いろんな意味で幅が広く
	なってきていると思います。大きな流れとしては、色々な人も来てもらえるし、
	本当に困っている人も、困っていない人も一緒に食べられる環境づくりが出来て
	きているような気がします。
	以上です。
福田会長 	西之辻委員、どうもありがとうございました。
	子ども食堂は、起こりは何でしょうか。子どもの貧困と直接結びついていたわりていない。本日は何でしょうか。子どもの貧困と直接結びついていたわりないない。
	│ けではないですが、貧困対策の施策と一緒になって、特に注目を浴びてしまう時

期が数年あったかなと思うのですが、一歩進んで、最近でいうと共生	
言葉もありますが、子どもに限らず参加されるというような形、もし	くは、宮島
委員のお話にもあったと思いますが、居場所づくりですよね。子ども	らにとって、
目の前の食事、ご飯が食べられないということだけではなくて、今日	の会議の冒
頭にもあったような、こども会活動、もしくは、スポーツ少年団のよ	ような形が、
なかなか実を結ばない部分もある中で、地域の中で、どう居場所を作	っていくの
か、もしくは、多世代が関わる機会をどう作っていくのかという中で	、子ども食
堂への期待というものは結構大きいのかなと。ただし、それはあくま	でも民間べ
ースで、やっていただくというところで、そこを、行政がどう支えてい	いくのかを、
今後も前向きに進めていっていただければいいのかなと思います。	
子ども食堂について、いかがでしょうか。他の委員の皆さん、何か	ご意見頂戴
できればお伺いしたいと思いますが、よろしいですか。	
はい、脇條委員、どうぞ。	
脇條委員 すみません。子ども食堂は、コミュニティーセンターや、色々なと	ころでやっ
てらっしゃると思いますが、お寺や神社、あと、商店街の空き店舗な	:どを活用し
ていけないかと。それは、行政が入らないと難しいのかなと思います	し、その辺
を何かつなげていけるような活動をしてもらいたいなと思います。を	っと、各家庭
の賞味期限が近いものだったり、片づけをしていて出てきたものを、	図書館だっ
たり、コミュニティーセンターだったり、色々な地域の場所で、いつ	でも寄附で
きるようなスポットがあると、目についたときに思い出して、すぐ寄	附しに行け
たりできるようになるのかなと思います。	
福田会長ありがとうございました。	
福田会長 ありがとうございました。 今後の展開方法ですよね。空いている部分を、何とか活用できない	のかという
今後の展開方法ですよね。空いている部分を、何とか活用できない	ますが、自
今後の展開方法ですよね。空いている部分を、何とか活用できない 部分と、それから、最近でしたら、フードドライブという言葉もあり	ますが、自 -く使っても
今後の展開方法ですよね。空いている部分を、何とか活用できない 部分と、それから、最近でしたら、フードドライブという言葉もあり 分の家で余っているもの、もしくは、賞味期限が切れそうなものを早	ますが、自 く使っても というご意
今後の展開方法ですよね。空いている部分を、何とか活用できない 部分と、それから、最近でしたら、フードドライブという言葉もあり 分の家で余っているもの、もしくは、賞味期限が切れそうなものを早 らうような方策を、より多くのところでできるような形を作れないか	ますが、自 く使っても というご意 かもしれま
今後の展開方法ですよね。空いている部分を、何とか活用できない 部分と、それから、最近でしたら、フードドライブという言葉もあり 分の家で余っているもの、もしくは、賞味期限が切れそうなものを早 らうような方策を、より多くのところでできるような形を作れないか 見だったかなと思います。今すぐ施策として実現できるものではない	ますが、自 く使っても というご意 かもしれま ような活動
今後の展開方法ですよね。空いている部分を、何とか活用できない部分と、それから、最近でしたら、フードドライブという言葉もあり分の家で余っているもの、もしくは、賞味期限が切れそうなものを早らうような方策を、より多くのところでできるような形を作れないか見だったかなと思います。今すぐ施策として実現できるものではないせんが、一つの方向性として、茨木市でも、既に、フードドライブの	ますが、自 く使ってき いというご意 かもしれま ような活動 がただ
今後の展開方法ですよね。空いている部分を、何とか活用できない部分と、それから、最近でしたら、フードドライブという言葉もあり分の家で余っているもの、もしくは、賞味期限が切れそうなものを早らうような方策を、より多くのところでできるような形を作れないか見だったかなと思います。今すぐ施策として実現できるものではないせんが、一つの方向性として、茨木市でも、既に、フードドライブのをされている団体もあるかと思いますので、うまくつながりながら進	ますが、自 くというしれる ままがい て ご ままがら しれまり ない たい たい たい たい たい たい たい たい と
今後の展開方法ですよね。空いている部分を、何とか活用できない部分と、それから、最近でしたら、フードドライブという言葉もあり分の家で余っているもの、もしくは、賞味期限が切れそうなものを早らうような方策を、より多くのところでできるような形を作れないか見だったかなと思います。今すぐ施策として実現できるものではないせんが、一つの方向性として、茨木市でも、既に、フードドライブのをされている団体もあるかと思いますので、うまくつながりながら進ければなと思います。宮島委員からのお話の中にもフードロスの話が	ますにとかよめあいて ごれ 活たい たっこく かんりょう しない たっとい かんり
今後の展開方法ですよね。空いている部分を、何とか活用できない部分と、それから、最近でしたら、フードドライブという言葉もあり分の家で余っているもの、もしくは、賞味期限が切れそうなものを早らうような方策を、より多くのところでできるような形を作れないが見だったかなと思います。今すぐ施策として実現できるものではないせんが、一つの方向性として、茨木市でも、既に、フードドライブのをされている団体もあるかと思いますので、うまくつながりながら進ければなと思います。宮島委員からのお話の中にもフードロスの話が思いますが、無駄にならないような形で食材を必要なところに回して	ますにとかよめあいて ごれ 活たい たっこく かんりょう しない たっとい かんり
今後の展開方法ですよね。空いている部分を、何とか活用できない部分と、それから、最近でしたら、フードドライブという言葉もあり分の家で余っているもの、もしくは、賞味期限が切れそうなものを早らうような方策を、より多くのところでできるような形を作れないが見だったかなと思います。今すぐ施策として実現できるものではないせんが、一つの方向性として、茨木市でも、既に、フードドライブのをされている団体もあるかと思いますので、うまくつながりながら進ければなと思います。宮島委員からのお話の中にもフードロスの話が思いますが、無駄にならないような形で食材を必要なところに回して仕組みを、茨木市でも今後積極的に展開していってくださるといいの	ますにとかよめあいて ごれ 活たい たっこく かんりょう しない たっとい かんり
今後の展開方法ですよね。空いている部分を、何とか活用できない部分と、それから、最近でしたら、フードドライブという言葉もあり分の家で余っているもの、もしくは、賞味期限が切れそうなものを早らうような方策を、より多くのところでできるような形を作れないが見だったかなと思います。今すぐ施策として実現できるものではないせんが、一つの方向性として、茨木市でも、既に、フードドライブのをされている団体もあるかと思いますので、うまくつながりながら進ければなと思います。宮島委員からのお話の中にもフードロスの話が思いますが、無駄にならないような形で食材を必要なところに回して仕組みを、茨木市でも今後積極的に展開していってくださるといいのました。どうもありがとうございます。	ま使いもうてっくないしないたまと思います。
今後の展開方法ですよね。空いている部分を、何とか活用できない部分と、それから、最近でしたら、フードドライブという言葉もあり分の家で余っているもの、もしくは、賞味期限が切れそうなものを早らうような方策を、より多くのところでできるような形を作れないが見だったかなと思います。今すぐ施策として実現できるものではないせんが、一つの方向性として、茨木市でも、既に、フードドライブのをされている団体もあるかと思いますので、うまくつながりながら進ければなと思います。宮島委員からのお話の中にもフードロスの話が思いますが、無駄にならないような形で食材を必要なところに回して仕組みを、茨木市でも今後積極的に展開していってくださるといいのました。どうもありがとうございます。ほかにございましたら、よろしいですか。いかがでしょうか。	ますけい ようてっくない かん まま 動だとないから まま 動だとない たまと
今後の展開方法ですよね。空いている部分を、何とか活用できない部分と、それから、最近でしたら、フードドライブという言葉もあり分の家で余っているもの、もしくは、賞味期限が切れそうなものを早らうような方策を、より多くのところでできるような形を作れないか見だったかなと思います。今すぐ施策として実現できるものではないせんが、一つの方向性として、茨木市でも、既に、フードドライブのをされている団体もあるかと思いますので、うまくつながりながら進ければなと思います。宮島委員からのお話の中にもフードロスの話が思いますが、無駄にならないような形で食材を必要なところに回して仕組みを、茨木市でも今後積極的に展開していってくださるといいのました。どうもありがとうございます。ほかにございましたら、よろしいですか。いかがでしょうか。	ますけいもうてっくなが、てごれ活たかうまと
今後の展開方法ですよね。空いている部分を、何とか活用できない部分と、それから、最近でしたら、フードドライブという言葉もあり分の家で余っているもの、もしくは、賞味期限が切れそうなものを早らうような方策を、より多くのところでできるような形を作れないか見だったかなと思います。今すぐ施策として実現できるものではないせんが、一つの方向性として、茨木市でも、既に、フードドライブのをされている団体もあるかと思いますので、うまくつながりながら進ければなと思います。宮島委員からのお話の中にもフードロスの話が思いますが、無駄にならないような形で食材を必要なところに回して仕組みを、茨木市でも今後積極的に展開していってくださるといいのました。どうもありがとうございます。ほかにございましたら、よろしいですか。いかがでしょうか。はい、西川委員、その後、宮島委員にお願いします。さらに、久保手が挙がりましたので、続いて、久保委員にお願いしたいと思います	まくとかよめあいか (委)。す使いもうてっくな しないたよと かずいてごれ活たかう思 ら、自も意ま動だとない も西
今後の展開方法ですよね。空いている部分を、何とか活用できない部分と、それから、最近でしたら、フードドライブという言葉もあり分の家で余っているもの、もしくは、賞味期限が切れそうなものを早らうような方策を、より多くのところでできるような形を作れないが見だったかなと思います。今すぐ施策として実現できるものではないせんが、一つの方向性として、茨木市でも、既に、フードドライブのをされている団体もあるかと思いますので、うまくつながりながら進ければなと思います。宮島委員からのお話の中にもフードロスの話が思いますが、無駄にならないような形で食材を必要なところに回して仕組みを、茨木市でも今後積極的に展開していってくださるといいのました。どうもありがとうございます。ほかにございましたら、よろしいですか。いかがでしょうか。 福田会長 はい、西川委員、その後、宮島委員にお願いします。さらに、久保手が挙がりましたので、続いて、久保委員にお願いしたいと思います。川委員、お願いしたいと思います。	まくとかよめあいか 委。 のす使いもうてっくな 員ま 支がっうしないたよと かず 給ってごれ活たかう思 ら、 論 自も意ま動だとない

生活福祉課	生活福祉課の莫根です。
莫根課長	これは、高校生が、高校等に就学したときに、入学の準備費用や、教材代、ク
	ラブ活動などに要する費用を支給するもので、アルバイトの関係で、何か支給す
	るというものではございません。
	以上です。
福田会長	西川委員、よろしいですかね。
西川委員	分かりました。これはご本人と相談や話をして、ご本人の手に渡るような形で
	されているということで、よろしいでしょうか。
生活福祉課	申請は、生活保護を受けられている保護者の方からいただきまして、その内容
莫根課長	を確認した上で支給しております。
福田会長	はい、ありがとうございます。
	これは、147ページの一番下に記載がありますが、「生業に必要な資金・器具・
	資材及び技能習得費用等高校就学費用」とありますので、高校生の場合は、高校
	生の就学費用が一定生業扶助に当たるということですかね。
生活福祉課	そうです。
莫根課長	
福田会長	はい、分かりました。そのほかにも、高校生で何か特徴的な生業扶助はありま
	すでしょうか。
生活福祉課長	先ほど申しましたように、入学金や、教材代ですとか、クラブ活動で要する費
莫根	用などを認定させていただいております。
福田会長	はい、分かりました。どうもありがとうございます。
	それでは、宮島委員、お願いします。
宮島委員	すみません。141 ページの「交通安全啓発・指導」についてですが、まず実績
	の確認ですが、令和2年度は96回、参加者は28,980人となっていて、Aと評価
	されているようなのですが、この 96 回、28,980 人の中身を聞きたいです。例え
	ば、交通安全教室は学校でもやっていますよね。小学校であれば、おそらく、2
	年生と5年生かな、6年間に2回、授業として時間が設けられて、警察のほうか
	ら来られて交通安全教室をやってらっしゃるみたいです。さらに地域でも、こう
	いった交通安全教室をやっていると思うのですが、その回数も含めて 96 回で、
	トータル人数が 28,980 人なのかどうか。この交通安全啓発と指導の、指導の部
	分についてですが、私自身も交通安全教室を地域でやったことが何回かあります
	が、中身として形式的な部分が多くて、子どもたちが明日からしっかり守れるよ
	というような形になっていない部分があります。それは一方には、家庭の中でも、
	大人が交通ルールをきちんと指導できていないという部分があって、そこで、学
	校、あるいは地域の交通安全教室ではこのように教わったけど、家では、お母さ
	んやお父さんが示している自転車の乗り方であるとか、そういった部分では、全
	然ルールとは違った乗り方をしているというようなことがあって、定着が全然で
	きていないというところがあります。最近、統計的には自転車の事故がかなり増
	えてきていると、警察からも聞いているのですが、形式的な交通安全教室にせず
	に、明日から、うまく生活の中で「自分たちが交通ルールをきっちり守らないと」
I	

	と思うような生活の中に定着できるような形の指導の仕方をする。回数が不足しているのであれば、もう少し回数を増やすとか、そういったことが必要になると思います。ヘルメットの着用についても、例えば、小学生の低学年であれば、必要になりますが、スポーツ安全教室、スポーツ青少年団体が、例えば練習に行くということで、自転車で場所を移動する際に、どこまでそれを徹底させているか。そういう子を見かけたこともありますが、あまり多くはないなという部分があって、定着できてないという部分があります。こういった部分は、回数ではなく、内容そのものとして、しっかり定着を求める形でやっていく必要があるのではないかと思っていますので、今後、このあたりは考えてほしいと思いますが、いかがでしょうか。
福田会長	ありがとうございます。 こちらは、交通政策課ですが、今日はいらっしゃらないので、こちらも後ほど ご回答いただくということでお願いできたらと思いますが、実施回数の中身です ね。具体的にどういったところで行われているのか、また、形式的ではなく、実 践的なものになっているのか。なっていないのであれば、そうしていただきたい というお話だったかと思いますが、宮島さん、よろしいですかね。
宮島委員	はい、お願いします。
福田会長	はい、ありがとうございます。 それでは、また後日、ご回答をお待ちしたいなと思います。 それでは、久保委員、お願いしたいと思います。すみません、お待たせしました。
久保委員	久保です。お願いします。 先ほどの、子ども食堂への支援のところで、この今の日本で、一日3回ご飯が 食べられない子どもがいるということに、胸を痛めている方はたくさんいらっし ゃると思いますが、何か自分にできることはないかということを、いつも考えて いるのですが、今、私自身2歳と5歳の子どもを育てていて、なかなかお手伝い に行ったりは出来ないのですが、せめて、月々少しずつでも寄附したり、何かで きたらなと思っています。今、自分のできることを考えたのですが、クラウドフ アンディングみたいに、この事業にすごく共感して、何かしたいというみんなの 気持ちを、何か形にできるような仕組み、例えば、税金はPayPayや、LIN EPayで、払えるようになったと思うのですが、そういった、自分が支援した い事業に寄附をするような仕組みが、今あるかどうかと、今後、そういったこと をするようなことはあるかを聞いてみたいと思いました。以上です。
福田会長	はい、ありがとうございました。 どうでしょうか。今、寄附など、受け皿としてどんなものがあるのかというと ころだと思いますが、何か事務局で把握されているものはございますか。
こども政策課	こども政策課、東井です。
東井課長	子ども食堂に、食材であったり、現金で寄付をしたいという方がおられましたら、11月の広報誌に、6ページの特集を組みまして、内容と、茨木市内で実施されている子ども食堂さん8団体の連絡先を記載させていただいておりますので、

I	
	各子ども食堂さんにそのお話をしていただいて、お声をかけていただけたらなと
	思っております。それから、今、委員がおっしゃっているようなクラウドファンディングにつき
	ましては、そういったあたりも模索していくべきなのかなと思いながら、今、お
	話を伺っておりました。若手の職員もおりますので、どんな方法が効果的なのか、
	現金の寄附や、食料品・消耗品を頂くシステムについては、今後考えていきたい
	と思っております。
L 福田会長	こ心ってものうよう。 はい、どうもありがとうございました。
岡田五民	久保さん、いかがでしょうか。
 久保委員	はい。できれば、PayPayや、LINEPayで、ぱっと寄付出来るように
NN X X	なればと思います。
 福田会長	なるほど。
久保委員	PayPayや、LINEPayなら、一瞬で寄付できるので、すごく良いなと
NN X X	思っています。24 時間テレビも、キャッシュレスの募金を開始したら、コロナで
	人は集まれないのに、すごい金額が集まったのを見ました。出向くとか、一々連
	絡して 1,000 円だけ渡しにいくというのは恥ずかしくて出来ないので、匿名で全
	然いいですし、大きく動かなくても寄付できる仕組みがあればいいなと思ってい
	ます。
 福田会長	はい、どうもありがとうございます。
	今のお話についてご意見ございますか。よろしいですか。
	私、いくつか基金などの運営委員に携わっておりますが、大阪であれば府単位
	で基金があったりしますが、今、いくつか課題になってきているのは、目的を明
	確化した上で寄附されたい方は、きっと一定数いらっしゃるだろうなと思ってい
	て、そういったものの受け皿を作っていく必要が今後出てくるのかなと思いま
	す。それは、行政であるとか、もしくは、行政単位にある社会福祉協議会である
	とかを活用しながら、寄附したものがどう活用されているのかが、しっかり分か
	るような形のものを、今後、検討していっていただけるといいのかなと思いまし
	た。100 円でも、1,000 円でも、各子ども食堂さんに、寄附していただくと、と
	ても喜ばれると思います。久保さんのようなご意見が広がっていくと、子ども食
	堂の活動が、大きくなっていくのかなと思いました。どうもありがとうございま
	した。
	はい。ほか、いかがでしょうか。よろしいですかね。
	(質問者等なし)
	はい、どうもありがとうございます。今日、一応予定させていただいていた部
	分は、ここまでということになります。
	それでは、本日の案件は、以上ということでございます。
	今後の、こども育成支援会議の日程等につきまして、事務局から説明をお願い
	したいと思います。
	事務局、お願いいたします。
事務局	はい。次回のこども育成支援会議ですが、年度末、2月頃に予定をしておりま

	して、後日、日程調整をさせていただく予定にしております。会議案件につきま
	しては、特定教育・保育施設等の利用定員の確認等を予定しておりますので、よ
	ろしくお願いします。
	以上です。
福田会長	はい、どうもありがとうございました。
	一応、これをもちまして、終了ということでございますけども、私、この手の
	会議で、事務局が説明を加えずに議論に入っていくという会議は、今回初めて参
	加させていただきました。各委員さんからの議論がしっかりできるような形で会
	議を進めさせていただくことができたので、よかったなと思いました。委員の皆
	さん方、本当にご協力ありがとうございます。また次回、2月ということでござ
	いますので、その際はどうぞよろしくお願いします。
	それでは、第 45 回、こども育成支援会議を終了とさせていただきたいと思い
	ます。長時間にわたり、ご協力いただきまして、どうもありがとうございました。
	お疲れさまでした。